



医療産業情報

<https://www.sangyo-times.jp/ir/>

発行所 **産業タイムズ社**

本社 〒101-0032 東京都千代田区岩本町1-10-5 TMMビル3階
TEL.03 (5835) 5891(代) FAX.03 (5835) 5491
大阪支局 〒530-0001 大阪府北区梅田1-1-3 大阪駅前第3ビル26階
TEL.06 (7222) 8055(代) FAX.06 (7222) 8056

ソウル支局/上海支局

JCOPY <(社) 出版者著作権管理機構 委託出版物>

禁無断転載・翻訳 <編集・発行人> 泉谷 涉

2020年(令和2年)4月24日(金曜日)第2325号

病院施設整備

3

札幌南徳洲会病院、新築移転工事を着工、21年5月竣工・夏ごろ供用開始.....	3
市立室蘭総合病院、外壁など5期改修は佐々木JVで施工、21年1月竣工.....	3
北海道、20年度当初予算案、病院事業収益は166億円を見込む.....	4
弘前総合医療C建設工事、建築と電気で熊谷組などが選定、機械は不落.....	4
岩手県医療局、県立病院改修設計5件の落札者を決定、環境計画工房など.....	5
県立新庄病院、移転改築で今秋に入札手続き、325床で23年度開院へ.....	5
埼玉県、県立精神医療Cの改修設計を公告、災害拠点精神科病院指定目指す.....	6
医療生協さいたま、川口市の診療所など複合施設移転を公告、来秋完成へ.....	6
旭市、20年度予算で旭中央病院に放射線治療棟を建設、医療機器も導入へ.....	6
君津中央病院、20年度に本院改修を実施、増築の設計着手は来年度以降に.....	7
東邦大学、大森病院にSCU 6床・佐倉病院にダビンチ、羽田再開発推進.....	7
神奈川県、新型コロナ向け2800床確保へ、東京都は4000床.....	9
横須賀市、新市立病院新築移転のDB事業者選定支援は日建CM.....	10
土岐市と瑞浪市、中間地点で新病院建設、年度内にも一部事務組合設立へ.....	10
東近江市の蒲生医療センター、昴会が指定管理者に、がん治療施設を新設へ.....	11
大阪大学附属病院、統合診療棟の工事は3Qに公告、工期は約45カ月.....	12
兵庫県と西宮市、新統合病院の設計業務をプロボで公告、22年度着工へ.....	12
大和高田市立病院、現庁舎跡へ移転も視野に将来のあり方検討進める.....	13
高松市、みんなの病院にダビンチを導入、医用画像情報システムも更新.....	13
福岡大学病院、新本館は21年度着工へ設計中、IMRTやTAVI導入も.....	14
くまもと心療病院、増築棟を21年4月に竣工開院、病床は162床設置.....	15
八代桜十字、5月1日に199床の新病院開院、リハビリで早期の復帰支援.....	15

業界ニュース

15

りんくうメディカルC、泉佐野市にコロナ抗体含有点鼻型予防品無償提供.....	15
--	----

ニュースフラッシュ/公告

16

◇「介護老人施設・老人ホーム計画一覧 2019-2020」好評発売中.....	2
◇【PR】クロニクス株式会社、不織布マスク販売、安心の三層構造.....	28

超高齢化社会に対応する 福祉・介護の最前線

介護老人施設・老人ホーム計画一覧 2019-2020

- 施設強化に奔走する福祉・介護事業者
- 人材不足や消費増税など課題山積
- 首都圏や大阪で福祉施設の整備が加速
- 介護保険施設や高齢者住宅など1600件以上の個別案件収録
- 移住促進で新たな“まち”を形成
- 法改正で整備が進むサ高住



内容構成

第1章 福祉・介護施設の最新動向

- ① 高齢者福祉政策と市場動向
- ② 調査レポート(福祉施設の建設コスト、倒産動向など)
- ③ 全国各地で進むCCRC
- ④ サ高住の整備状況
- ⑤ 保健福祉計画・介護保険事業計画の現状と展望

第2章 高齢者住宅・介護事業大手78社の最新動向

第3章 都道府県の保健福祉計画

第4章 全国介護老人施設・老人ホーム個別整備計画一覧

■体裁・頁数…B5判 402頁 ■定 価…15,000円+税

WEBにてサンプル公開中

<https://www.sangyo-times.jp/>

(お申し込みはFAX03-5835-5492で!)

「介護老人施設・老人ホーム計画一覧 2019-2020」申込書

申込 年 月 日

所在地	〒		
フリガナ			電話 () 局
会社名	-		
御購入 部 課 名		担当者 ご芳名	
E-mail			
お冊 申 込 数	定価15,000円 + 税 × () 冊		

出版物の お問い合わせ先

株式会社産業タイムズ社

〒101-0032
東京都千代田区岩本町1-10-5
TMMビル3階

販売部 TEL.03 (5835) 5892

FAX.03 (5835) 5492

広告 TEL.03 (5835) 5893

編集 TEL.03 (5835) 5896

法人のお客様:
申込書到着後、請求書を同封にてお送りします。

個人のお客様:
代引きにてお送りします
(手数料300円+税を別途ご負担願います)

送料500円
(税込5,000円以上のご注文で送料無料)

病院施設整備

札幌南徳洲会病院、新築移転工事を着工、21年5月竣工・夏ごろ供用開始

(医) 徳洲会は、札幌南徳洲会病院(札幌市清田区里塚1条2-20-1、Tel.011-883-0602)の新築移転を札幌市清田区平岡で計画しており、このほど三菱地所㈱が事業主、施工者は日本建設として着工した。病床数は88床(一般48床、ホスピス40床)で、そのほか人工透析25床を計画しており、竣工は2021年5月、供用開始は21年夏ごろを予定している。

計画地は札幌市清田区平岡5条1-5。札幌市営地下鉄東西線大谷地駅から徒歩約30分、道央自動車道札幌南ICから車で約7分の場所となる。病院の規模は、RC一部S造り地下1階地上2階建て延べ約7180m²。診療科目は内、消化器内、緩和ケア内、呼吸器内、腎臓内、循環器内、糖尿病内、リハビリテーション、漢方内科を標榜する。

同病院では、高齢者機能の充実などを計画し、ホスピスケアをメインとした病院を整備する。四季を感じるデイルームや、サンルームのある病室を設置し、さらに情報交換の場を想定したカフェや医療知識を深める場として多目的ホールなどを完備することで、地域包括ケアの核となる病院を目指していく。

なお同病院は、三菱地所初の病院不動産開発事業となる。竣工後は同社が病院施設を保有し、徳洲会が賃貸し運営を行う。

市立室蘭総合病院、外壁など5期改修は佐々木JVで施工、21年1月竣工

市立室蘭総合病院(北海道室蘭市山手町3-8-1、Tel.0143-25-3111)は、外壁や屋上などを対象にした改修工事を計画しており、「市立室蘭総合病院建物外部等改修五期工事」として建築を佐々木・早坂・丸三特別共同企業体が落札した。入札価格は1億6160万円。合わせて建築設計の工事監理業務を㈱サン設計事務所が落札(入札価格467万5000円)した。工期は2021年1月29日まで。

同病院は許可病床数549床(一般401床、結核24床、精神120床、感染症4床)の地域における基幹病院。1997年に現在地に移転新築し、16年度から建物の延命などに向けて「建物外部等改修」を行っており、今回は5期にあたる。

5期では南棟建物外部などを改修する。また、屋上防水、外壁シーリング防水のほか、外壁タイル、外壁塗装、外部建具類などを対象とした既存更新修復営繕改修を行う。

同病院の建物外部等改修工事は、施設の老朽化に伴い策定されたもので、今回の改修工事で完了する。

なお、市立室蘭総合病院を含む室蘭市の3つの総合病院は、現在地域医療のあり方の検討を進めている。人口減少、少子高齢化など人口動態が移り変わる中、急性期病院としてのあり方などを議論しており、20年3月には「第2次中間取りまとめ」を公表して、高度急性期、急性期医療や救命救急における2次医療圏の拠点となる医療機関については、新病院の建設も視野に入れて、25年以降のできるだけ早い時期に東室蘭地域に1施設整備する方針を打ち出した。

北海道、20年度当初予算案、病院事業収益は166億円を見込む

北海道(札幌市中央区北3条西6、Tel.011-231-4111)は、2020年度当初予算案をまとめた。病院事業会計における収益的収入および支出の予定額としては、病院事業収益166億1755万円、費用は169億1679万6000円を見込む。また債務負担行為としては、札幌医科大学附属病院の工事請負に関して49億8913万1000円を計上するほか、企業債には病院建設事業として9億8600万円を計画した。

20年度の収益166億1755万円のうち、医業収益は74億6570万1000円を見込む。費用としては169億1679万6000円のうち、医業費用に144億6116万5000円を計上する。また資本的支出には、建設改良費として10億1232万9000円を見込む。

業務の予定量としては、道内6病院計876床を対象に、年間の入院患者数13万7863人、外来患者数23万4022人を見込んでいる。

当初予算内でのそのほか医療に関するものとしては、地域医師連携支援センター運営事業費に9902万6000円、緊急臨時的医師派遣事業費に1億5630万4000円、地方・地域センター機能強化事業費に9678万円、ドクターヘリ整備事業費に10億568万3000円、周産期医療システム整備事業費に5億4835万2000円などを計上する。

福祉に関するものでは、介護サービス提供基盤等整備事業費に28億1127万7000円、認知症疾患医療センター運営事業費に5069万4000円、介護ロボット導入支援事業費に1億7915万2000円などを見込んでいる。

弘前総合医療C建設工事、建築と電気 で熊谷組などが選定、機械は不落

国立病院機構 弘前病院(青森県弘前市大字富野町1、Tel.0172-32-4311)は、弘前市立病院と統合する新中核病院「(仮称)弘前総合医療センター」の建設工事について、建築・機械・電気に3分割して一般競争入札で公告した結果、建築は熊谷組、電気は日本電設工業・サンテックJVが第1交渉権者となった。4月末までに正式に落札者を決定する見込みで、価格はその際に決定する。機械については予定価格超過のため不落となり、今後再公告などを検討している。

今回の工事は新中核病院の新棟工事のほか、弘前病院の現施設のうち約1500m²を対象とした改修工事、現施設のうち約1万m²の解体工事、外構工事などを行う。工期は約31カ月間で、2022年度中の供用開始を目指している。

新中核病院は国立病院機構 弘前病院の敷地に建設し、病床数は450床程度。診療科目は弘前病院の科目に精神科や歯科、リハビリテーション科などの5科目を加えた24科目となる予定。

計画では既存の弘前病院の入院棟342床に併設する形で新病棟を建設し、病床のほか外来や医局などを設ける。新病棟の建物はRC造り5階建て延べ約2万2700m²で、病床は108床程度を予定している。基本設計と工事監理は佐藤総合計画が担当した。

総事業費は約126億円を計画しており、弘前市が約40億円を負担し、残りを国立病院機構などが負担する。弘前市の20年度当初予算案では、新中核病院整備事業費補助金として20億円を計上した。また青森県も20年度当初予算案の中で、津軽圏域新中核病院施設設備整備費補助として15億円を計上した。

岩手県医療局、県立病院改修設計5件の落札者を決定、環境計画工房など

岩手県医療局(盛岡市内丸11-1、Tel.019-629-6311)は、県立病院における改修設計業務5件について落札者を決定した。胆沢病院医局改修工事設計業務は木村設計A・Tが210万円、中部病院ほか構内交換およびナースコール更新工事設計業務は振興設備設計が450万円、釜石病院ほかエレベーター改修工事設計業務は三衡設計社が325万円、磐井病院ほか無停電電源装置および直流電源装置更新工事設計業務は環境計画工房が140万円、中部病院ほか中央監視システムなど改修工事設計業務は環境計画工房が520万円で落札した。期間はいずれも90日間。

胆沢病院医局改修工事設計業務は、胆沢病院の医局不足を解消するため病歴室を医局に改修する工事の設計を委託するもの。工事費は2473万円を予定している。

中部病院ほか構内交換およびナースコール更新工事設計業務は、中部病院と江刺病院において構内交換とナースコール更新を行う工事の設計で、工事費は1億1380万円を予定している。

釜石病院ほかエレベーター改修工事設計業務は、釜石病院で2台、胆沢病院で4台、軽米病院で2台の計8台のエレベーターを改修する工事の設計で、予定工事費はそれぞれ3056万円、1億1967万円、5490万円。

磐井病院ほか無停電電源装置及び直流電源装置更新工事設計業務は、磐井病院と二戸病院において無停電電源装置と直流電源装置を更新するもので、予定工事費は2721万円。

中部病院ほか中央監視システムなど改修工事設計業務は、中部、江刺、東和、宮古の4病院について、中央監視システム等の改修に関する設計を行うもの。工事費は非公表。

県立新庄病院、移転改築で今秋に入札手続き、325床で23年度開院へ

山形県(県立病院課、山形市松波2-8-1、Tel.023-630-2325)は、県立新庄病院(新庄市若葉町12-55)の移転改築を計画しており、WTO対象案件として2020年秋に入札手続きを開始し、23年度の開院を予定している。

同病院は、1952年に開設した最上地域唯一の中核病院であり、病床数は454床(一般452床、感染2床)で、診療科目は18科。既存施設は、全体敷地1万7695m²に1975年に建設のA、B棟、84年に建設のC棟を中心に延べ床面積約2万5500m²の施設が稼働しているが、築後40年が経過し老朽化していることから移転改築を行う。

移転場所は、新庄市金沢字中関屋地内で国道13号線沿いの敷地約5万6400m²。ここに災害拠点病院として、免震構造RC一部S造り6階建て延べ約2万6000m²の病院棟と、S造り2階建て延べ約1000m²のエネルギーセンター棟を合わせた延べ2万7000m²を建設する。駐車場は平面で約850台のスペースを確保する。

病床数は325床で、内訳は一般病床261床、地域救命救急センター10床、地域包括ケア病床50床、感染症病床4床。

診療科目は現在の18科に、新たに緩和ケア内科、腫瘍内科、血液内科、精神科・心療内科、歯科、救急科、リハビリテーション科、腎臓・内分泌内科、総合心療内科の9科を新設する。

救命救急センターを設置するなど救急医療を強化するとともに、がん医療、心疾患・周産期医療、総合診療科の新設など総合診療の充実、災害医療の充実に注力する。

現在、実施設計を佐藤総合計画・鈴木建築設計事務所・総合設備計画JVで6月末の完了をめどに実施しており、今秋にWTO案件として建築工

事の入札手続きを開始する予定。22年度内の竣工、23年度の開院を予定している。なお、概算事業費は200億円規模を見込んでいる。

埼玉県、県立精神医療Cの改修設計を公告、災害拠点精神科病院指定目指す

埼玉県(病院局経営管理課県立病院施設整備担当、さいたま市浦和区高砂3-13-3、Tel.048-830-5979)は、北足立郡伊奈町にある県立精神医療センターにおいて、「精神医療センター災害拠点精神科病院施設整備工事設計業務」を公告した。参加申請は4月23日に締め切った。入札書の提出は4月27日～5月7日とし、5月8日に開札する。履行期間は12月18日まで。

県立精神医療センターの所在地は、北足立郡伊奈町小室818-2。同センターが災害拠点精神科病院指定を受けるために必要となる建物、設備改修に関する基本設計・実施設計を委託する。業務概要は、非常用発電設備の設置に関する設置場所や既存電力系統への接続方法の検討など、受水槽の設置に関する設置場所や既存給水系統への接続方法の検討など、備品備蓄倉庫の増築、建物内部改修(電気設備工事)の基本設計・実施設計を担当する。

なお、既存施設の規模は、RC一部S造り地下1階地上3階建て延べ1万9219m²。

医療生協さいたま、川口市の診療所など複合施設移転を公告、来秋完成へ

医療生協さいたま生活協同組合(埼玉県川口市木曾呂1317、Tel.048-294-6111)は、川口市で計画する「(仮称)さいわい診療所・ケアセンターか

がやき移転新築工事」を一般競争入札で公告した。4月22日に入札参加申請は締め切っており、6月1日に入札を行う。工期は2021年3月22日までを予定。

既存のさいわい診療所の所在地は、川口市西青木4-1-20。診療科目は内科のみで、訪問診療や各種検査などを行う。同診療所は17年ごろから移転を検討し始め、このほど隣接するケアセンターかがやきとともに移転することとなった。

移転先は、川口市西青木5-1-13、17、63。施設はRC一部S造り3階建て延べ1922m²で、フロア構成は1階に地域住民が自由に利用できる交流スペースと診療所、2階にデイケアと看護小規模多機能型居宅介護、3階に訪問看護や居宅介護などの訪問系事業と診療所の管理事務機能を導入する。

工期は契約確定日～21年3月22日で、川口市工事検査規則に基づく中間検査と完成検査を行う。

医療生協さいたまでは、今回の「(仮称)さいわい診療所・ケアセンターかがやき移転新築工事」のほか、「行田協立診療所建て替え」など、積極的な施設の整備を行っている。

旭市、20年度予算で旭中央病院に放射線治療棟を建設、医療機器も導入へ

旭市(千葉県旭市二1920、Tel.0479-62-1212)は、2020年度の病院事業予算として国保旭中央病院(旭市イ1326、Tel.0479-63-8111)の放射線治療棟建設工事に2億5000万円、医療機器整備費用に16億1100万円を投じる計画である。

同病院は、診療科目40科、病床数989床(一般763床、精神220、感染6)で、地域の中核病院として機能している。

20年度予算では、施設整備分として放射線治療棟建設工事に2億5000万円、医療機器整備分として16億1100万円を投じる。

放射線治療棟は、新装置導入にあたり既存の放射線治療棟(延べ床面積346m²)に隣接してRC造り平屋建て257m²の建屋を増築する。設計作業は横河建築設計事務所ではほぼ完了しており、4月の着工、2021年1月末の完成、同年4月の完成を予定している。

医療機器は、MRI装置2式、血管造影X線診断装置2式、その他11種類で114式を導入する計画である。

君津中央病院、20年度に本院改修を実施、増築の設計着手は来年度以降に

君津中央病院企業団(千葉県木更津市桜井1010、Tel.0438-36-1072)は、2020年度に君津中央病院(木更津市桜井1010)の本院改修工事を行う計画で、かねて計画している本院増築と病棟改修について、設計作業に着手するのは早くても21年度以降になる見通しである。

君津中央病院本院は、診療科目24科、病床数661床。新設から約15年であるが、君津保健医療圏の基幹・中核病院として担うべき医療に対し、すでに支障が出始めており、この対策として本院の増築および病棟の改修を実施し、将来にわたり本院の医療機能を維持・継続する計画である。

当初構想では、増築棟は規模がRC造り3階建て延べ4104m²。内部には通院治療センター(外来化学療法室)、MRI室、外来診察室、地域医療センター、(仮称)地域包括ケア推進センター、栄養食事相談室、患者図書室、患者相談室、ボランティア控室、医務局研究室、医師・看護研修室、スキルラボセンター、医学図書室、ドクターヘリ運

航管理室などを設置。

改修は2～3階の約1800m²が対象で、消化器内視鏡検査室の拡張、第2内視鏡洗浄室新設、医務局研究室が増築棟へ移転した跡地への短期滞在者手術室(兼外来手術室)の新設、中央手術室の移設拡張などを予定。基本計画はアイテック㈱が担当した。

当初計画では18年に設計作業へ着手する予定であったが、収益状況などを鑑み、先送りされている。同病院ではこれに先立ち、20年度に本院改修工事を実施する。具体的には、病棟のLED照明更新工事、管理部門の個別空調設備更新、火災報知器設備更新などを行う計画。

本院増築と病棟改修については、経営健全化の事情などから保留中としており、順調に進めば増築は21年度以降に設計作業を進め、完成後に病棟改修工事を実施する計画。なお、状況によっては計画内容の見直しもあり得る。

東邦大学、大森病院にSCU 6床・佐倉病院にダビンチ、羽田再開発推進

東邦大学(東京都大田区大森西5-21-16)は、2020年度事業として、病院における医療の高度化や羽田空港跡地再開発の計画推進などに取り組む。

大森病院では、高度急性期病院として、特定入院料算定病床(救命1・2、ICU、HCU)の稼働を高めつつ、新たにSCU(脳卒中ケアユニット)6床を新設して対象患者の積極的な受け入れを図る。

また、22年に予定されている羽田空港跡地再開発事業についても、関係各所と連携しながら開設準備を進めていく。

なお、延期となった東京オリンピック・パラリンピックでは、救護所を開設するなど協力体制を

構築するとともに、訪日外国人の増加へ対応するため、国際医療支援部を中心に外国人患者の受け入れ体制の強化を進めるとしていた。

大橋病院では、18年6月の新病院開院にあたり「病診連携室」「ソーシャルワーカー室」「がん相談支援センター」などを集約し、病院の顔として「患者サポートセンター」を新設した。引き続き、地域医療機関・介護福祉機関・行政機関等との連携を強化し、地域完結型医療を推進していく。特に、高稼働・高機能で推移している大橋病院にとっては、急性期にも対応できる後方支援病院の充実が重要であり、地域医療機関への訪問活動や広報活動を強化し、地域医療連携協力機関(登録医)800医療機関を目指す。

また、新病院では、感染症に対応可能な陰圧隔離室を整備しており、教職員の意識を高め感染症への対応を強化する。同病院は、19年12月より東京都災害拠点連携病院となった。

佐倉病院では、手術室が非常に高い稼働率で運用されていることから、手術待ち日数の短縮に向けて手術枠の見直しや手術室の増室などを検討する。また、10月には、前立腺がんなどで主流となってきたロボット手術支援システム「ダビンチ」の導入を予定しており、入院期間の短縮、診療単価の向上、外科医および紹介患者獲得への効果に期待している。6月の病院機能評価(Ver.2.0)の更新受審を前に、安全・安心の担保・向上に向けて病院機能を再評価する機会とするべく病院一丸となって準備を進めており、病院としての質の向上を目指す。

経営基盤の確立と強化においては、各診療科との連携を一層強化することで救急患者受け入れ体制を整備し、救急車応需率70%を目標に受け入れを増やす。19年12月にはICUに連結した透析室の整備拡充工事が完了し、透析7床(うち個室1床)での治療を開始した。

東京オリンピック・パラリンピックが延期となる前、羽田空港クリニック・羽田空港第3ターミナルクリニックでは、同開催に向け以下のような対応を計画していた。国際空港という公共性の高い施設の医療機関として、その役割はさらに大きくなる。引き続き、両クリニックおよび大森病院が連携して空港利用者および勤務者にやさしく安全で質の高い医療を提供していく。特に、今後増えるとされる外国人受診者へ適切な対応をするため、電話通訳サービスや翻訳アプリなどを有効活用するとともに、職員の語学力の向上など、受診体制の強化を図る。さらに空港内クリニックとして、新型コロナウイルス感染症(COVID-19)など輸入感染症への対応強化、防災訓練への積極的参加と災害時対応の見直しを行うとともに、関連機関との情報共有により適切な対応を図るとしていた。

羽田空港跡地再開発推進計画については、22年の事業開始に向けて準備を進めている。羽田戦略特区プロジェクト委員会において、同大学が賃借予定のフロアを効率的に運用できるように、定期的にコアメンバーによる会議を開き設計図面の詰めの作業を行っている。19年夏に羽田空港跡地第1ゾーンは「HANEDA INNOVATION CITY」と名付けられ、今年7月には、まち開き(先行開業)することが決定し、先端モビリティセンターや研究開発拠点の一部、区施策活用スペースやライブホールなどが開業することとなった。同大学の事業展開はその2年後となるが、同プロジェクトの三本柱である「予防医療」「先端医療」「医工連携」を推進するために19年に引き続き関係各所と打ち合わせを行っている。

同法人では、将来の発展の礎となる教育や18年6月の新大橋病院開院をはじめとする医療に関わる大型投資を集中して進め、16～18年度の中期経営計画で取り組んだ設備投資金額は、通常期

の3倍程度の水準となる260億円強に達した。19年度からは、投資を減価償却費の範囲内に抑制することで、引き続き手許資金の復元、借入金の圧縮を行い、25年度の創立100周年に向けたバランスシートのさらなる健全化を進めている。

神奈川県、新型コロナ向け2800床確保へ、東京都は4000床

新型コロナウイルス感染者の爆発的急増とそれに伴う医療崩壊を防ぐため、神奈川県と東京都は感染専門病床として、それぞれ2800床と4000床の確保を目指している。

神奈川県(横浜市中区日本大通1、Tel.045-210-1111)は、重症患者用の高度医療機関(救命救急センターなど)として60～300床、中等症患者用の重点医療機関として240～2500床の病床確保を進めている。「神奈川モデル」(医療体制)と呼び、患者が大幅に増えた際、治療の必要な人に適切な医療を提供するとともに、医療崩壊を起こさないために、国の方針を踏まえて計画を立てた。軽症や無症状であれば自宅や宿泊施設で過ごすように求め、病院では中等症より重い患者に対する治療を優先する。県立足柄上病院(足柄上郡松田町)、県立循環器呼吸器病センター(横浜市金沢区)、国立相模原病院(相模原市南区)を重点医療機関の第1弾として設定している。

また同県は、「神奈川モデル」の一環として、中等症患者を受け入れる「重点医療機関」の病床数を確保するため、新たに臨時的仮設医療施設を設置する。設置場所は、藤沢市にある湘南ヘルスイノベーションパーク内のグラウンドで、病床数は180床、5月の稼働を予定する。湘南ヘルスイノベーションパークは、政府の緊急事態宣言に伴う神奈川県の要請を受けて、新型コロナウイルス感

染症の臨時的仮設医療施設の建設用地として、同グラウンドを有期無償で貸すことにした。これは、同パークに隣接する湘南鎌倉総合病院が、「神奈川モデル」での新たな重点医療機関(中等症患者受け入れ機関)として指定されたことに伴い、同病院の仮設医療施設の建設のため、協力を要請されたもの。運営は(医)沖縄徳洲会。

さらに川崎市は、重症・中等症向けに190床(重症20床、中等症170床)を市内3病院で確保した。重症は、市立川崎病院(川崎区)と民間病院、中等症は市立井田病院(中原区)、市立多摩病院(多摩区)、民間病院。

一方、東京都(東京都新宿区西新宿2-8-1、Tel.03-5321-1111)は、新型コロナウイルス感染対応の重点医療(感染症専門)向け病床として4000床の確保を目指している。4月14日時点で半分の2000床まで確保しているが、すでに98%(約1960床)を感染症患者が入院で使用しており、さらなる病床確保が急がれる。一部の患者は県境を越えた川崎市にある聖マリアンナ医科大学病院に搬送している事例も出ている。軽症者には、自宅や宿泊施設(1000床以上を確保済み)での療養を要請している。東京都は、最悪の場合に都内で2万5000人の感染者を想定している。

そのような環境下で公益財団法人日本財団(東京都港区)は、「船の科学館」(東京・お台場)など首都圏の2カ所に合計1万床の仮設病床を、軽症者向けに整備する予定である。「船の科学館」の駐車場は広大な敷地があり、大型テント1棟(2250m²)のほか、800m²、600m²のテント4棟を設置することで、4月末までにまず約1000床を確保する。テントといっても、基礎土台に加えて鉄骨を入れた強固なもので、風速30mにも耐えられる。同財団の笹川陽平会長は4月3日の記者会見で「新型コロナウイルス感染症拡大による医療崩壊の危機が指摘されている。国難に直面し

ている。何よりも今は病床不足の解消が急務だ」と述べている。

このほか東京都港区は、PCR検査を独自で民間への委託を開始した。これまでは「東京都健康安全研究センター」に依頼してきたが、長い時間を要することから、民間機関へ委託を始めた。民間では、検査結果が翌日に判明し、迅速な対応ができる。

横須賀市、新市立病院新築移転のDB事業者選定支援は日建CM

横須賀市(神奈川県横須賀市小川町11、Tel.046-822-4000)は、「新市立病院基本設計およびDB(デザインビルド)事業者選定に係る支援業務」の公募型プロポーザルを実施し、最優秀者として日建設計コンストラクション・マネジメント(東京都文京区)を選定した。4月中にも正式に契約する見込みで、支援業務の履行期限は2021年3月26日まで。20年度中には、DB(設計施工一括)の事業者を選定し、24年度内の竣工、25年夏の開院を目指す。

DB事業者の選考は、9月に制定予定の(仮称)新市立病院設計施工事業者選考委員条例に基づいて設置する「新市立病院設計施工事業者選考委員会」が行う予定。基本設計は、山下設計が11月末までに作成する見通し。

「横須賀市新市立病院建設」事業は、市内にある市立2病院(市民病院、うわまち病院)のうち、うわまち病院を新築移転するもの。移転先は、久里浜地区の神明公園(神明町1-8、2万5246m²)を予定し、病院用地として約2万m²を確保する。新病院の病床数は急性期350床(ICU含む)と回復期100床の合計450床で、現行より33床増やす。延べ床面積は、1床当たりの面積を80~85m²と

して乗じた3万6000~3万8250m²を基本としている。診療科目は現在の28科を維持し、手術室は2倍増の10室とする考え。

現在の同市立うわまち病院は、許可病床数417床、診療科28科を持つ。同病院は、1960年代後半(昭和40年代初め)に国立横須賀病院として建設され、2002年に横須賀市に移譲された。中央病棟と外来棟の老朽・狭隘化が問題になったことから、市立病院運営委員会への諮問・答申などを経て、18年8月に移転・建て替えを決定した。

土岐市と瑞浪市、中間地点で新病院建設、年度内にも一部事務組合設立へ

土岐市(政策推進課、岐阜県土岐市土岐津町土岐口2101、Tel.0572-54-1111)と瑞浪市(企画政策課、岐阜県瑞浪市上平町1-1、Tel.0572-68-2111)は、土岐市総合病院とJA岐阜厚生連(岐阜市宇佐南4-13-1、Tel.058-276-5661)の東濃厚生病院(瑞浪市)の統合(1病院化)を目指し、両市と岐阜厚生連で組織した医療提供体制検討会で協議を重ね、3月24日の第9回の検討会において3者の意見統一が図られたため閉会した。

第9回検討会では、以下の内容が確認された。新病院の建設位置は中間地点を基本とし、経営手法は土岐市・瑞浪市による公設、厚生連による民営とする。新病院の建設候補地は中間地点を基本に、設置主体となる公的機関の設置に向けた協議を行う組織を、土岐市および瑞浪市が協同で設置する。新病院の運営に係る計画などを踏まえた構想の作成については、土岐市・瑞浪市・厚生連で協議を行っていく。新病院開設に必要な用地買収、施設整備などについては、土岐市と瑞浪市の両市が共同設置者として、また、厚生連は病院統合の当事者として、それぞれ応分の人的、財政的な負

担をすることとし、詳細については今後の協議とする。新病院が設置されるまでの間は、土岐市立総合病院と東濃厚生病院の間で機能分担をできるかぎり早急に進めるなど。

今後は、両市で新病院の設置者となる一部事務組合の設立に向けた協議、それぞれの議会の承認を得る必要があるが、用地選定や取得などの準備期間も必要であるため、遅くとも2020年度内に設立したいもようである。

瑞浪市では、第8回検討会において、中間地点として「D地点」での整備を望んでいた。D地点は約3万m²の敷地面積で、進入路の拡幅整備費13億円程度を合わせた土地整備費約21億6100万円が見込まれ、他の候補地4地点より最も低く抑えられる。用地取得および農振除外などの手続きや造成工事などの期間が必要であるとされていたが、両市では、D地点にこだわらず、周辺の間地点で条件が良く、費用が少ない候補地を選定する。

土岐市立総合病院(土岐市土岐津町土岐口703-24)は、診療25科で、許可病床数は350床(一般病床、うち276床稼働)、職員数(16年4月1日時点)は449人。建物は、1988年完成の5階建て延べ2万3807m²。ほかに、土岐市老人保健施設やすらぎ(短期含め一般棟60人、認知症専門棟40床、通所リハビリ25人)と土岐市国民健康保険駄知診療所(診療科目内科)を運営し、職員数(16年4月1日時点)は、それぞれ81人(うち病院兼任5人)、6人。

東濃厚生病院(瑞浪市土岐町76-1)は、敷地約1万7300m²(うち借地1490m²)で、病床270床、診療18科。建物は、03年完成で、診療棟・病棟が6階建て延べ1万8682m²、健康管理センターが3階建て延べ1791m²、立体駐車場が3階建て延べ2325m²、看護師寮・車庫1048m²、保育所151m²を保有している。

なお、19年3月の土岐市議会でJA岐阜厚生連を土岐市立総合病院の指定管理者とすることが承認され、この4月から運営を開始した。5年間にわたり指定管理者となる。

東近江市の蒲生医療センター、昴会が指定管理者に、がん治療施設を新設へ

東近江市 蒲生医療センター(滋賀県東近江市桜川西町340、Tel.0748-55-1175)は、指定管理者制度を導入し、4月から(医)社団 昴会が運営・管理を開始した。今後はこれまでの在宅医療体制や健診体制を維持しつつ、東近江医療圏域で手薄になっている「がん治療施設」を新たに整備する。

同センターは2013年4月に旧東近江市立蒲生病院から有床診療所に運営形態を変更。15年3月には新館が竣工している。規模は建築面積3415m²、延べ床面積1万2777m²。病床数は19床を数え、診療科目は内科、外科、整形外科、小児科、眼科、耳鼻咽喉科、リハビリテーション科、放射線科の計8科目を標榜している。

昨今の医療を取り巻く現状を鑑みて、新しい形態への転換が最善と判断し、4月から指定管理者制度を導入。これにより、同センターの運営・管理は日野記念病院、湖東記念病院、市立能登川病院を運営する昴会が担当することになった。今後はこれまでの在宅医療体制や健診体制を維持しつつ、東近江医療圏域で手薄になっている「がん治療施設」を新たに整備する。

がん治療施設は敷地内に建設する方向で調整しているという。規模は未定。同施設には、がんの発見を担うPET検査ができるCT装置に加え、リニアックも備える予定。計画の詳細は20年夏～秋に発表する方針であり、同施設は21年度以降の開設を目指す。

大阪大学附属病院、統合診療棟の工事は3Qに公告、工期は約45カ月

大阪大学医学部附属病院(大阪府吹田市山田丘2-15、Tel.06-6879-5111)は、診療棟や病棟の建て替えを行う再開発を計画しており、先ごろ、発注見通しを公表した。それによると、工事名は「大阪大学(吹田)医学部附属病院統合診療棟等新営その他工事」で、工期は約45カ月を設定。2020年度第3四半期に施工の公告を行う。

計画によると、吹田団地内の空いた敷地に、新しい統合診療棟を建設するほか、既存の外来・中診棟(部分)の改修工事を行う。新統合診療棟は2期に分けて整備する方針で、S一部SRC造り地下2階地上8階建て総延べ約6万5000m²の規模となる。また、延べ約7000m²のエネルギーセンター棟も建設。その後、外来・中診棟(部分)の改修工事(改修面積は約900m²)を実施する。

基本設計は榎日建設が担当しており、実施設計も委託する方向で検討しているという。予定工事発注規模は6億円以上。今後のスケジュールとしては、20年度第3四半期に施工の公告を行い、入札は同年度第4四半期に実施する。そして、21年度の工事着手を目指す。

なお、病棟の再開発に関しては、新統合診療棟の完成後にスタートする予定。

兵庫県と西宮市、新統合病院の設計業務をプロポで公告、22年度着工へ

兵庫県(神戸市中央区下山手通5-10-1、Tel.078-362-9169=病院局企画課)と西宮市(病院改革担当部および西宮市立中央病院経営企画課)は、新統合病院の基本・実施設計業務を公募型プロポーザルで公告した。参加表明書は4月

27日までで、審査は2段階となり、1次審査通過者の技術提案書は7月中旬の提出、2次審査は8月中旬を予定し、事業者を選定する。委託期間は2022年3月31日まで。今後は、20～21年度の設計、21年度の埋蔵文化財調査、22～25年度の工事を経て、25年度末までの開院を目指す。

整備地は、兵庫県西宮市津門大塚町のアサヒビル西宮工場跡地2万6000m²。救急車両の出入りや駅からの利用者の動線を考慮し、国道2号線に面する南側に病院建物を配置する。また、将来的な医療技術の進歩などを考慮し、将来の拡張性を確保した配置とする。

建物はS造りなどで、免震構造を採用した10階建て延べ5万4300m²を想定している。

病院建物のフロア構成は、1階にエントランス、救命救急、放射線、核医学、内視鏡、医事、講堂、2～4階に透析、生理検査、検体検査、化学療法、外来、ラウンジ、患者支援、売店、事務、管理、医局、研修、SPDなど、薬剤、給食、リハビリ、集中治療、手術、臨床工学、中材、エネルギーセンター、5～10階に病棟(うち5階に周産期病棟)、屋上にヘリポートを配置する。

加えて、低層階に便利施設を配置する立体駐車場棟を整備する。駐車台数は平面と立体を合わせて400台を見込んでおり、公共交通機関の充実に努める。さらに、病院附属施設として、立体駐車場と便利施設の整備(設計、工事、運営)は、PFIなど民間事業者の資金とノウハウを活用する。

診療科は、これまで2病院が提供してきた診療機能を継承し、2病院の診療科を維持・充実することに加え、高齢者人口の増加などを見据え、合併症などに対応できる診療機能を整える。特に増加が見込まれる循環器系・呼吸器系の充実を図る。そのため、診療科は、新たに脳神経内科、精神科、心臓血管外科を設置し、35科(内、呼内、循内、消内、腎内、脳神内、糖・内分泌内、血内、腫瘍内、皮、

リウ、小児、精神、外、呼外、心血外、乳外、消外、泌、脳外、整、形、眼、耳鼻、産婦、リハ、放診断、放治療、麻、病理、臨床、救急、歯口、ペイン内、ペイン外)体制を見込む。

病床規模は、552床(一般544、精神8)を想定。一般病床のうち、集中治療系はEICU 8床、救命救急センター病棟12床、NICU 6床、GCU 6床、HCU・GICU・CCU 14床、SCU 6床を見込む。新たに設置する精神科病棟8床は、精神科身体合併症病棟(MPU)となる。なお、地域包括ケア病棟は地域で対応するため除く方針だ。

専門センターは、救命救急センター、地域周産期母子医療センター、消化器病センター、呼吸器病センター、腎疾患総合医療センター、四肢外傷センター、脳卒中センター、ハートセンター、アイセンター、生活習慣病センター、内視鏡センター、オンコロジーセンターを設置するほか、臓器別センター運用も行う方向で検討を進める。

概算事業費は386億円。内訳は、用地取得費55億円、設計・監理費14億円、建築費247億円、医療機器70億円を予定している。

大和高田市立病院、現庁舎跡へ移転も視野に将来のあり方検討進める

大和高田市立病院(奈良県大和高田市磯野北町1-1、Tel.0745-53-2901)の「将来のあり方検討業務」について、公募型プロポーザルを実施した結果、シップヘルスケアリサーチ&コンサルティング(大阪府吹田市)に決定し、業務を進めている。現大和高田市庁舎跡地への移転新築も視野に入れた病院の将来のあり方を検討するもので、契約期間は10月31日までを見込む。

同病院の将来のあり方を検討するにあたり、特に整備手法の比較検討では、新庁舎が2021年3

月末に完成した後の現市庁舎跡地の活用も視野に入れ、移転新築、現地建て替え、統廃合について比較検討する見通しだ。

また、病院の運営面経営面の諸課題検討および将来シミュレーションでは、施設建設に係わる事業手法については、PFI方式を活用した比較および検討も含むとしている。

一方、現市庁舎跡(同市大字大中100-1)は、市が担当し、跡地利用に関するサウンディング型市場調査を実施しており、実施結果は20年4月下旬に公表する見通し。現庁舎跡の概要は、敷地約9200m²で、道路や水路を隔てて6筆(区画)に分かれている。最大区画の面積は6238m²。用途地域などは、近隣商業地域、準防火地域、31m高度地区となっている。現庁舎の建物の解体作業は、21年10月からを予定している。

現在の同病院について、東館(新館)は、SRC地下1階地上5階建て延べ約1万1900m²の規模で、救急外来や外来診療、中央手術室のほか、病棟156床(産婦、外、泌、内、耳鼻、皮)を配置している。西館(旧館)は、5階建て延べ約9800m²の規模で、外来診療、中央点滴室、透析センター、中央検査室、HCUのほか、病棟164床(脳内、泌、内、整外)を配置。南館は比較的新しく3階建て延べ1635m²で、放射線治療センター、管理部門、教育センターを導入している。

病床数は320床、診療17科(消内、循内・腎内、総合内、呼内、神内、外、整外、小児、産婦、泌、脳外、麻、眼、リハビリ、耳鼻、皮、放)の体制である。

高松市、みんなの病院にダビンチを導入、医用画像情報システムも更新

高松市(香川県高松市仏生山町甲847-1、Tel.087-813-7171=みんなの病院経営企画課)

は、2020年度高松市病院事業会計予算において、建設改良費として前年度実績(4121万6000円)から大幅増額の5億8846万円を計上している。みんなの病院に手術支援ロボット「ダビンチ」を導入するほか、医用画像情報システムも更新する。

20年度高松市病院事業会計予算によると、業務予定量は、みんなの病院が入院年間延べ患者数9万1250人、外来年間延べ患者数10万5705人を、塩江分院は入院年間延べ患者数1万2410人、外来年間延べ患者数2万1627人を見込んでいる。塩江分院の訪問看護事業利用者数は2160人を想定。

主要な建設改良事業は、みんなの病院の医療器械等整備事業に5億8846万円を充てる。医療器械等整備事業では、高度医療ならびにがん診療に対応するため、既存の手術室の改修工事を実施するほか、ダビンチを新規に1台導入する。また、同病院では医用画像情報システムも更新する予定。いずれも20年度内の整備完了を目指す。

高松市立みんなの病院は18年9月に開院した。規模は敷地約5万4100m²、RC・SRC一部S造り6階建て延べ約2万7300m²。病床数は305床(一般299床、感染症6床)を数え、診療科目は25科目(内、呼内、消内、循内、神内、外、呼外、脳外、整形外、精、小、皮、泌、産、婦、眼、耳鼻、リハ、放、病診、臨検、救、口外、麻)を標榜している。

福岡大学病院、新本館は21年度着工へ設計中、IMRTやTAVI導入も

福岡大学(福岡市城南区七隈8-19-1、Tel.092-871-6631)は、2020年度の事業計画をまとめ、23年中の開院を目指し計画を進めている福岡大学病院の新本館について、開設準備室を設置する。

同大学の各病院の20年度の取り組みは以下の

とおりである。

まず、医療施設全体の取り組みとしては、国の医療政策や地域社会の変化を見据えて病院経営改革特別委員会を新設し、21年11月末をめどに、病院間の連携による経営面の抜本的改革を段階的に進めていく。

福岡大学病院は、現在進めている新本館について、中央診療機能を中心に特定機能ならびに災害拠点病院としての機能を充実させるため、各診療科、部門からの意見を集約し効率的に反映させるための開設準備室を設置する。関係各部署との綿密な連携を図ることで、院内体制の整備を進めていく。ちなみに、新本館は19年秋に基本設計を終え、現在は実施設計開始に向けて準備を進めている。建物規模などは、設計を修正しているため検討中としているが、基本設計時点では11階建てを想定していたという。その後は21年度から施工を開始し、23年中の完成を目指している。

また、20年度は地域のがん診療連携拠点病院として、がん治療に重点を置き、20年の診療報酬改定によりロボット手術の保険適用疾患が拡大されるため、ロボット手術件数を増やす。さらに、最新リニアック治療装置(IMRT)の設置や、経カテーテル的大動脈弁置換術(TAVI)などの最先端治療も導入し、医療の質、安全に配慮した治療も実施していく。

そのほかにも、医療経費対策として、高額な医薬品や医療材料の購入の際には、納入価格評価のためのベンチマークシステムの導入を検討するとともに、老朽化に伴う医療機器の購入の際には価格交渉を強化し、費用増加の抑制を図っていく。

一方で、福岡大学筑紫病院は、福岡県独自の新たな承認基準を満たすため、行政との情報共有に努めながら、地域医療支援病院としての機能の検証と充実を図る。

また、24年4月から適用開始される医師の時間

外労働の上限規制に向け、医師事務作業補助者の増員、電子カルテ端末の増設などで労働環境を整備していく。

福岡大学西新病院は、各診療科の受け入れ体制を充実させ、内科診療や小児科医療の強化を図っていく。

そのほかにも、福岡大学博多駅クリニックでは、これまでの経営状況を踏まえ、事業方針の見直しを行う。

くまもと心療病院、増築棟を21年4月に竣工開院、病床は162床設置

(医) 再生会 くまもと心療病院(熊本県宇土市松山町1901、Tel.0964-22-1081)は、現在建設を進めている増築棟について、2021年4月中の竣工と開院を予定していることがわかった。病床数は162床を設ける。

場所はくまもと心療病院敷地内。今回の増築棟は現病院の一部が現在の耐震基準を満たしていないために計画されているもので、敷地面積2万3594m²に、建物はRC造り5階建て延べ6363m²(建築面積1638m²)で建設する。増築棟は、1階に医局などの管理部門や検査室、2～4階に病棟を配置する。病床については現病院の病床286床から移設し、162床を設ける。

なお、くまもと心療病院は1961年に開院した地域に根ざした精神科の病院で、敷地面積約3万m²に、建物面積約1万3000m²で立地している。診療2科目(精、神)を備える。

八代桜十字、5月1日に199床の新病院開院、リハビリで早期の復帰支援

(医) 八代桜十字(熊本県八代市通町8-9、Tel.0965-32-7158=桜十字八代病院)は、新築を進めてきた「桜十字八代リハビリテーション病院」を5月1日に開院する。

計画地は八代市本町2-4-33で、敷地面積は6192m²。建物はS造り5階建て延べ9778m²(建築面積2355m²)で建設する。診療は7科目(脳神、内、外、整、リハ、胃内、神内)で、病床数は199床を設ける。

新病院は、「八代のヒトとマチを元気にする中核病院」をコンセプトに、質の高いリハビリや早期の在宅復帰を支援していく。また、施設内には八代市を一望しながらリハビリが行える「リハビリ庭園」を屋内に完備する。さらに、計画地が商店街に隣接しているという特性を生かし、商店街を実際に歩く歩行訓練や緑を配した庭園やカフェなども用意し、商店街の賑わい創出も図っていく。

また、病床の199床に関しては、八代市内で同法人が運営する桜十字八代病院から32床、丸田病院から167床の病床を移設し、確保する。ちなみに新病院の開院後、丸田病院は閉院する。

業界ニュース

りんくうメディカルC、泉佐野市にコロナ抗体含有点鼻型予防品無償提供

(医) 紀隆会りんくうメディカルクリニック(大阪府泉佐野市りんくう往来南3-41 りんくうメディカルポート2階、Tel.0724-24-0024)は、泉佐

野市への新型コロナウイルス抗体含有点鼻型予防品の無償提供に関する協定を締結した。

りんくうメディカルクリニックは、新型コロナウイルスの拡大防止のため、塚本康浩教授(京都府立大学・現学長)が開発した抗体を用い院内調製した「新型コロナウイルス抗体含有・点鼻型予防品」を泉佐野市に無償で提供することとなり、同市との間で感染症予防および拡大防止のための協定を4月9日に締結した。

感染者などのケアにあたる医療従事者や、窓口業務など不特定多数の人と対面する行政担当者など、地域の医療や行政などの最前線に立つ人々の感染予防に対し一助となればと、感染症に対する地域支援策の一つとして、塚本教授の協力により実現した。

「新型コロナウイルス抗体含有点鼻型予防品」は、塚本教授が開発した「新型コロナウイルスCOVID-19に反応するダチョウ抗体」を用いて、院内にて点鼻用に調製したもので、新型コロナウイルスのspike protein(スパイクプロテイン・人体に感染する際に必要な分子)に結合することで、鼻腔などに新型コロナウイルスが侵入しても感染を抑制できる可能性が高まる。同製剤は点鼻や咽頭に噴霧することにより、通常の間接防護だけよりも3～4時間程度、より強力に人体への感染を予防できると考えられるとしている。

りんくうメディカルクリニックは、先進的ながん検査・がん予防治療・再発防止治療・がん治療がワンストップで行える診療所として、19年10月1日に開院した。

ニュースフラッシュ/公告

■北海道陸別町、8期介護保険事業計画を委託へ

陸別町(北海道足寄郡陸別町東1条3-1、Tel.0156-27-2141(内)216=総務課管財防災担当)は、第8期高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画策定を委託する公募型プロポーザル実施を公表し、4月22日に参加申込書の提出を締め切った。4月27日に提案書の提出を締め切り、5月14日ごろに結果を通知する。契約期間は2021年3月31日までで、提案限度額は401万5000円。

■青森市、20年度に市民病院で7件の工事予定

青森市(青森市中央1-22-5、Tel.017-734-1111)は、20年度の青森市民病院の工事発注見通しを公表した。発注予定は以下のとおり。▽事業名、工事内容、発注方法、入札時期、工期の順。▽東病棟南側外壁改修工事、外壁タイル改修工事1式、一般競争入札、6月、90日、▽受変電室および発電機室高圧真空遮断器等更新工事、高圧機器取替工事1式、一般競争入札、6月、120日、▽無停電電源装置更新工事、無停電電源装置取替工事1式、一般競争入札、8月、150日、▽ボイラー(B-2)更新工事、ボイラー据付工事1式、一般競争入札、6月、210日、▽空量設備遠隔制御用信号変換器更新工事、空調設備自動制御工事1式、一般競争入札、9月、120日、▽バーチカルコンベアー機械設備更新工事、バーチカルコンベアー設置工事1式、一般競争入札、7月、120日、▽冷温水二次ポンプ等更新工事、ポンプ設置工事1式、指名競争入札、10月、60日

■大館市の成寿会、小規模特養ホームを先行整備

(福)成寿会(秋田県大館市釈迦内狼穴79)は、大館市に建設を予定した小規模特養・サービス付き高齢者住宅併設施設について、小規模特養のみで先行して建設する。8月に着工し、21年2月の完成を目指す。施設の場所は大館市釈迦内狼穴79で、規模は木造平屋建て約1450m²、定員29床となる。以前の計画では敷地内に3階建て延べ約4360m²、定員46人のサ高住を併設する予定だったが、助成金が下りる見通しがないため、サ高住棟については建設を延期し、22年ごろの建設を検討している。

■福島県富岡町、特養DBで7月に公募型プロポ

富岡町(福島県双葉郡富岡町大字本岡字王塚622-1、Tel.0240-22-0899)は、特養ホームと高齢者サポート施設の複合施設の新設をデザインビルド(DB)方式で計画しており、事業者の公募型プロポーザルを7月に実施する予定である。建設場所は、富岡町本岡王塚37ほかの富岡第二小学校跡地。施設規模は特養ホームが延べ3000m²で定員50床、高齢者サポート施設は延べ約1000m²を想定。9月に基本・実施設計と施工者を決め、21年春の着工、同年12月の完成を予定している。

■新潟市の有徳会、地域特養を21年2月に開設

地域密着型特養ホーム1施設(29人、ユニット型)の事業者を選定された(福)有徳会(新潟市西区小針上山9-32、Tel.025-265-7770)は、このほど、施設の建設に着工した。開設予定地は同市西区小針上山2112-1で、21年2月の開設目標である。

■栃木県壬生町、地域特養・GH・小多機を募集

壬生町(栃木県下都賀郡壬生町通町12-22、Tel.0282-81-1830=高齢福祉係)は、地域密着型

サービスの事業者募集を開始した。4月27日13時30分から町役場2階正庁で募集要項などに関する説明会の開催を予定しており、説明会参加申込書の提出期限は4月24日。質問の受け付け期間は4月27～30日、応募書類の提出期間は5月11～20日で、6月中旬にプレゼンテーションおよび面接を行い、6月中旬に整備法人を決定し、通知する。

公募するのは、地域密着型特養ホーム(定員29床)、認知症高齢者グループホーム(定員9人)、小規模多機能型居宅介護(登録29人、通い18人、泊まり上限9床)で、いずれも町内全域を対象に、募集数はそれぞれ1施設となっている。開設年度は、20年度内をめどとしている。

■さいたま市、旧市立病院解体を6月発注

さいたま市(病院施設管理課施設係、さいたま市浦和区常盤6-4-4、Tel.048-873-4170)は、1月に移転した市立病院について、旧市立病院の解体工事を6月に発注する見通した。工期は約16カ月を見込む。解体後、跡地は駐車場を整備する。設計全般は山下設計が担当。解体するのは、SRC造り地下1階地上6階建て延べ約1万7000m²の西棟(管理棟など含む)、RC造り6階建て延べ約8600m²の東棟、RC造り平屋建て延べ約1100m²のさくらそうA病棟など。跡地の駐車場整備は、21年3月の公告を予定し、工期は10カ月を見込む。駐車台数は患者用257台、車いす用21台、職員用50台などを見込む。供用開始は22年4月を計画する。

全体の事業費は16億5706万1000円で、2カ年継続費を設定。20年度に6億1400万8000円、21年度に10億4305万3000円を予定している。

■さいたま市、美園杜浦和会と大桜会が特養整備

さいたま市(浦和区常盤6-4-4、Tel.048-829-

1265＝介護保険課事業者係)は、整備予定の特養ホーム2施設(4月1日現在)を公表した。以下は、▽設置主体(連絡先)＝施設名(建設予定地、整備定員、工事区分、整備年度、開設予定年月日)の順。
▽(福)大桜会(Tel.048-688-8700)＝特別養護老人ホーム 諏訪の苑(見沼区南中野29、定員50床、増床、19～20年度、21年4月1日)

▽(福)美園杜浦和会＝(仮称)特別養護老人ホーム 美園の杜(緑区美園2-16-1ほか、ユニット型定員80床・併設ショートステイ20床、20～21年度、22年4月1日)

■滑川珠美園、埼玉県滑川町に障害者支援施設

(福)滑川珠美園は、埼玉県比企郡滑川町に「障害者支援施設滑川珠美園」の新設を計画しており、これにかかる新築工事を一般競争入札で公告し、4月23日に参加申請を締め切った。入札日は5月27日を予定し、工期は6月1日～21年8月31日を見込む。建設場所は滑川町羽尾4910-1で、敷地8941m²。施設は2棟構成とし、障害者支援施設棟がRC一部S造り2階建て延べ2704m²、渡り廊下棟がS造り平屋建て82m²を計画する。あわせて、既存の物置棟2棟、ごみ集積所の解体、外構工事もう行う。工期は21年8月31日までだが、障害者支援施設棟の完成引き渡しは同年3月10日まで。

■千葉市、小多機・Gホーム併設3カ所など募集

千葉市(中央区千葉港2-1、Tel.043-245-5062＝介護保険事業課事業所支援班)は、地域密着型サービスの公募および随時募集を行っている。

公募するサービスは、小規模多機能型居宅介護、介護予防同、看護多機能のいずれかと、認知症高齢者グループホームないし介護予防同との併設する施設3事業所と、花見川区、稲毛区、緑区、美浜区のいずれかにおいて定期巡回・随時対応型訪問

介護看護2事業所。グループホームは1事業所につき3ユニットまで、定期巡回は、募集地域の各区において1事業所を限度とし、一体型・連携型どちらでも可としている。

公募の申し込み受け付け期間は5月8～21日、事業者説明会は5月下旬(未定)、公募申請書の受け付けは7月(未定)で、7～8月に審査・選定を行い、その後、あんしんケアセンター等運営部会において報告および意見聴取(時期未定)、選定事業者の決定(時期未定)とし、今回の募集の詳細は、説明会において示す。

随時募集分のサービスは、市内全域を対象に、定期巡回、夜間対応型訪問介護、認知症対応型通所介護・介護予防同、小多機・介護予防同、地域密着型通所介護、看多機。

■東京都港区、特養など区立施設管理者公募中止

港区(東京都港区芝公園1-5-25、Tel.03-3578-2412＝高齢者支援課高齢者施設係)は、新型コロナウイルスの感染拡大を踏まえ、早急に対応を検討する必要があることから、港区広報誌の「広報みなと」4月11日号で公募を通知していた、特養ホームなど港区立施設の指定管理者の公募を一時中止した。

対象施設は以下のとおりで、1つのグループの施設を1法人に委託するとしていた。以下は、グループ番号(施設)の順。①(特別養護老人ホーム 白金の森、高齢者在宅サービスセンター 白金の森、地域包括支援センター 白金の森)、②(特別養護老人ホーム 港南の郷、高齢者在宅サービスセンター 港南の郷、地域包括支援センター 港南の郷、ケアハウス 港南の郷)、③(特別養護老人ホーム サン・サン 赤坂、高齢者在宅サービスセンター サン・サン 赤坂、赤坂子ども中高生プラザ、赤坂子ども中高生プラザ 青山館)、④(南麻布高齢者在宅サービスセンター、南麻布地域包括支援センター)、⑤

(台場高齢者在宅サービスセンター)、⑥(北青山高齢者在宅サービスセンター、北青山地域包括支援センター)、⑦(芝高齢者在宅サービスセンター、芝地域包括支援センター)

港区広報誌の4月11日号では、公募要項の配布期間は4月21日から5月20日、指定期間は21年4月1日から26年3月31日としていたが、公募は一時中止している。

■東京都大田区、GH・看多機・定巡各1を募集

東京都大田区(大田区蒲田5-13-14、Tel.03-5744-1637=介護保険課基盤整備担当)は、いずれも全圏域を対象とする認知症高齢者グループホーム(介護予防含む)、(看護)小規模多機能型居宅介護(介護予防含む)、定期巡回・随時対応型訪問介護看護各1事業所の事業者募集を開始した。募集枠が埋まるまで、3回にわたり応募を受け付ける。第1回は5月20～22日、第2回は7月29～31日、第3回は9月30日～10月2日。第1回公募のスケジュールは、応募の受け付け開始前日までが事前相談期間で、5月下旬から6月中旬に書類審査、ヒアリングなど、6月下旬に運営協議会を開催し、7月上旬に選定結果を通知する。10月の補助内示後、12月に着工し、21年12月の開設を目指す。

第3回公募におけるグループホーム分については、21年度予算が大田区議会において議決されることが条件となっている。また、グループホームの第3回を除き、原則として、20年度中の着工が条件である。

■世田谷区、地域特養1・GH4など募集開始

世田谷区(東京都世田谷区世田谷4-21-27分庁舎、Tel.03-5432-2408=高齢福祉課事業担当)は、地域密着型サービスの事業者募集を開始した。20年度は、19年度に続き計3回の募集を予定し

ている。2回目以降は選定数が20年度の募集数に達しない場合に実施する。第1回の募集期間は4月13日～5月15日(質問票は4月23日に締め切り)、第2回が7月1～31日(質問票の提出期限は7月13日)で、いずれも、原則として20年度中に工事着工し、21年度末までに工事が竣工することとしている。第3回の募集期間は10月1～30日(質問票の提出期限は10月16日)で、原則として21年度中に工事着工し、22年度末までに工事が竣工することとしている。

募集は以下のとおりで、▽サービスの種類(募集数)の順。▽地域密着型特養ホーム(併設ショートステイ含む)(1カ所)▽認知症高齢者グループホーム(4カ所)▽小規模多機能型居宅介護ないし看護小規模多機能型居宅介護(5カ所)▽定期巡回・随時対応型訪問介護看護(地域医療介護総合確保基金分)(1カ所)

地域密着型特養ホームは、ユニット型であること(従来型は対象外)、サテライト型は可としている。グループホームは、①1事業所について2ユニットまたは3ユニットでの整備であること。ただし、3ユニットの場合は、グループホームの運営実績があること。①に関わらず、グループホームが未整備の圏域または、小多機または看多機を併設する場合は、1ユニットでの整備も可能とするなどとしている。小多機・看多機はサテライト型が可となっている。

■八王子市、小多機2・GH2・定巡1を募集中

八王子市(東京都八王子市元本郷町3-24-1、Tel.042-620-7452=高齢者いきいき課事業者指定担当)は、地域密着型サービスの事業者募集を開始した。公募の締め切りは、第1回が5月22日、第2回が9月18日で、第1回公募の事業者選定結果などにより、第2回公募の募集数などが変わるとしている。以下は、▽サービス種別(公募数、

日常生活圏域)の順。▽定期巡回・随時対応型訪問介護看護事業所(1、市内全域)▽小規模多機能型居宅介護事業所ないし看護同(2、市内全域・うち大和田/中野/元本郷/長沼/堀之内/子安圏域を優先)▽認知症高齢者グループホーム(2、市内全域・うち中野/堀之内圏域を優先)

■町田市、老健29床や小多機2施設を募集中

町田市(東京都町田市森野2-2-20、Tel.042-724-3291=いきいき総務課施設整備係)は、老人保健施設および地域密着型サービスの事業者再募集を受け付けている。いずれも応募があり次第、受け付けを終了する。

募集しているのは、①介護老人保健施設(増築に限る)、②医療機関併設型小規模介護老人保健施設、③サテライト型小規模介護老人保健施設で、募集数は市内全域で29床。①では、在宅復帰支援機能を強化した介護老人保健施設とするために必要な居宅(訪問・通所・入所等)サービスとして、通所リハビリテーション事業(必須)、訪問看護ステーション(原則)、訪問リハビリテーション事業(原則)とし、②では、厚生労働大臣が定める施設基準に適合したユニット型個室または、従来型個室を設置することとしている。

書類提出から3カ月程度で選定結果が分かり、その後、20年8月ごろないし21年8月ごろに東京都との補助協議、それぞれ21年5月ごろないし22年5月ごろに内示を予定している。

また、地域密着型サービスは、市内全域を対象とする定期巡回・随時対応型訪問介護看護(一体型または連携型)1施設、小規模多機能型居宅介護・看護小規模多機能型居宅介護2施設(1施設当たり登録定員29人以下・宿泊5~9人、2施設は異なる圏域から選定)を募集している。このうち、定期巡回については、応募予定の事業者があるため、5月29日までに応募書類を提出できる事業者

のみを募集している。

なお、以下は市内の介護保険施設の整備状況で、【サービス種別】▽整備運営事業者(定員、開設時期)の順。

【小多機・看多機】▽(医)久盛会(創生会とで計54人、19年6月)▽(医)社団 創生会(久盛会とで計54人、5月)

【グループホーム】▽(福)永寿会(18人、3月)▽(医)社団 愛友会(18人、10月)▽ミモザ榎(18人、21年3月)

■学研ココファン、川崎市営住宅跡でサ高住予定

㈱学研ココファン(東京都品川区西五反田2-11-8、Tel.03-6431-1863)は、川崎市の市営四方嶺住宅跡地利用で、「サービス付き高齢者向け住宅および広場」を整備・運営する借受予定者として市から特定された。20年の貸付開始日から50年間の定期借地契約となり、貸付料金は月額49万円。サ高住と、介護・医療サービス事業所の併設が必須条件になっている。場所は、高津区蟹ヶ谷字四方之嶺265-3の用地6212m²。災害時の一時避難場所に利用できる広場として、市民が自由に使える場所も整備する。

■甲府市、高齢者支援計画策定などの支援委託へ

甲府市(山梨県甲府市丸の内1-18-1、Tel.055-237-5388=福祉保健総室総務課計画係)は、高齢者支援計画および障がい者福祉計画策定支援業務を委託するための公募型プロポーザル実施を公告し、4月21日に質問書の提出を締め切った。参加に必要な書類の提出期限は4月30日で、5月7日にプレゼンテーション、5月11日に審査結果を通知し、5月中旬に契約手続きを行う。履行期間は契約締結日から21年3月31日までで、委託上限額は1046万円(税込み)。

■愛知医大、機器に6.5億円、情報S更新継続

愛知医科大学(愛知県長久手市岩作雁又1-1)は、20年度事業として、定位的脳手術システム導入、1.5テスラMRIやCT更新などに6億5000万円余り、医療情報システム更新に26億円を投資する。

診療用機器の整備では、6億5527万5000円を予算化し、定位的脳手術システムを導入して不随意運動において薬剤コントロールが困難な例に有効な脳深部刺激(DBS)を施行する。旧病院から移設した機器が老朽化したため更新血管撮影装置(2台)、1.5テスラMRI、CT撮影装置の更新、導入後5年以上が経過しメーカー保守が切れるARIAサーバー(放射線治療情報システム)、マンモグラフィ画像撮影システムおよび所見レポートシステム、Kada-Rec2(透視画像記録装置)の更新、導入から10年以上が経過し、老朽化が目立つドクターカーの更新などを行う。

同大学では、14年5月の新病院開院から19年度に5年が経過したため、新病院に導入した医療機器などを19年度からの5年間で計画的に更新や増強を進めている。5年間の投資額は100億円以上とみている。19年度では、核医学センターでSPECT-CT装置2式を更新し、そのうち1式は、半導体SPECT-CTを導入した。これは近年注目されつつある放射性医薬品による治療と診断を行う新しい医療技術「セラノスティックス」に最適な装置で、国内での導入施設は3施設しかなく、東海地区では初の導入となった。これらと血管撮影装置の更新、全自動輸血検査装置の更新、メーカーサポートが終了する人工心肺装置、経皮的心肺補助システム、画像診断センター3D画像配信システム、一般撮影検像システムの更新などを行い、診療用機器の整備に6億1800万円を投資した。

新病院開院を機に導入した電子カルテは、19年度を皮切りに内容が確定したシステムから更新に着手しており、また、医療情報システム導入支

援業務委託契約を行い、進捗管理などの支援コンサルタントを委託し、19年度の医療情報システム更新関連事業に3億6000万円余りを投資した。20年度は、サーバーや端末などの機器老朽化やシステム・ソフトウェアの陳腐化に対処し、信頼性と利便性の向上を図るため病院医療情報システムを更新する。医療情報システム更新関連に26億円を予算化し、また、医療情報システム導入支援業務委託契約を継続して次期システムの導入管理、システム会社との調整および導入後の管理などを委託するため521万3000円を予算化した。

外来化学療法センターにおいては、患者数の増加に伴い、待ち時間の延長やセンターの終了時刻の遅延が深刻化しているため、ベッドをチェアに5床切り替えるとともに、チェアを2床増床して対応するため、428万円を予算化した。

このほか、研究環境の再生整備として、プロテオミクス解析に基づく治療標的分子同定システムに必要なLC-MS/MS質量分析計・蛍光顕微鏡画像システム、フローサイトメーターを更新するため8407万1000円、30年以上使用して老朽化したオートクレーブ設備を更新し、動物実験ガイドラインを遵守した適正な動物実験を持続的に実施できる研究環境を整備するため2079万円、愛知県警などからの依頼を受けて行う法医解剖と、これに伴う各種検査を行っている既存のLC-MS/MSを更新するため1500万円をそれぞれ計上した。

建物修繕では、1987年の設置から32年が経過する特高変電所の特高変圧器3基を更新するほか、竣工から20年が経過し外壁のシーリング防水が寿命を迎えて各所で漏水の報告がある1号館(大学本館)は、外壁等補修工事を行う。1号館は4年計画で全面的な外壁防水補修工事を行う予定である。また、C、D棟の各電気室において、竣工当初から更新されていない変圧器9基を更新し、

省エネルギー化を図る。これらに3億1862万2000円を予算化した。

20年度の予算額は、事業活動収支予算では、収入が475億400万円(前年度比5.04%増)、支出474億3500万円(前年度比2.82%増)で、7000万円の黒字を見込む。資金収支予算では、資金収入は合計516億3900万円(学生生徒等納付金収入50億6500万円、寄付金収入4億1700万円、補助金収入19億1700万円、医療収入387億3500万円など)、資金支出は合計504億4300万円(人件費支出192億7200万円、教育研究費支出231億600万円、管理経費支出7億7100万円、施設関係支出3億2500万円、設備関係支出39億1800万円、借入金等返済支出17億7200万円など)としている。

■みよし市、市民病院を改修、12月25日完了

みよし市(愛知県みよし市三好町小坂50、Tel.0561-32-8006=総務課)は、みよし市民病院改修の建築工事、電気工事、機械工事の各事後審査型一般競争入札を公告し、いずれも参加申込書の受け付けを4月17日に締め切った。建築工事と機械工事は、4月21～22日に入札、4月23日に開札を終えており、電気工事は27～28日に入札、4月30日に開札となる。

工事概要は、建築工事については、屋上防水をウレタン塗膜防水にて改修、既設ステンレス製桶を塩ビ製桶に改修、新設ナースコール設置場所の壁の造作など、電気工事については、既設ナースコールの改修、自動火災報知設備の改修、外来への非常用コンセントの整備、空調機改修に伴う電源設備の整備など、機械工事は、理学・作業療法室および医師室などの空調機の改修、ビル用マルチエアコン室外機2基・天井カセット形室内機9台の撤去、空冷ヒートポンプパッケージエアコン(ツイン)3組・空冷ヒートポンプパッケージエア

コン2台・ルームエアコン8台の新設などで、いずれも工期は12月25日まで。

■土岐市、全世代健康寿命延伸事業を開始へ

土岐市(岐阜県土岐市土岐津町土岐口2101、0572-54-1111(内)517=市長公室政策推進課)は、全世代健康寿命延伸事業(運動習慣づくり・フレイル予防)業務委託のための公募型プロポーザル実施を公表し、4月22日に参加申し込みの受け付けを締め切った。企画提案書の受け付け期間は4月24日～5月8日で、5月13日にプレゼンテーションを含むプロポーザル審査委員会を開催し、5月14日に審査結果を通知する。委託期間は契約日から21年3月31日までで、委託費の上限は902万円(税込み)。

■志摩市、8期介護保険事業計画の策定委託へ

志摩市(三重県志摩市阿児町鶯方3098-22、Tel.0599-44-0284=介護・総合相談支援課)は、第8期介護保険事業計画・高齢者福祉計画策定業務を委託する公募型プロポーザル実施を公表し、4月21日に参加申込書の提出を締め切った。提案書の受け付け期間は4月27日から5月15日で、5月25日にヒアリング審査を行い、5月27日にヒアリング審査の結果を通知し、6月1日に業務仕様書の提出・協議を行い、6月上旬に随意契約を結ぶ。履行期間は21年3月26日までで、見積限度額は440万8000円(税込み)。

■東近江市、地域密着型サービス1施設を公募

東近江市(滋賀県東近江市八日市緑町10-5、Tel.0748-24-5645=長寿福祉課)は、地域密着型サービスの事業者募集を開始した。公募の受け付け期限は5月8日で、書類審査の後、5月中旬に面接審査と1次審査を行い、6月中旬に2次審査を行い結果を通知する。21年4月上旬の事業開始

が条件である。公募する施設は、①(介護予防)小規模多機能型居宅介護事業所(登録定員29人以下、サテライト事業所除く)、②看護小規模多機能型居宅介護事業所(登録定員29人以下)、③認知症高齢者グループホーム(定員9人以下)のうち、いずれか1サービスで、募集数はいずれも1施設。

■亀岡市、地域福祉計画策定支援業務を委託へ

亀岡市(京都府亀岡市安町野々軒8、Tel.0771-25-5029=地域福祉課地域福祉係)は、地域福祉計画策定支援業務の公募型プロポーザル手続きを開始、4月22日に参加申込書の受け付けを締め切った。企画提案書の受け付け期間は4月27日～5月20日、5月27日にプレゼンテーション審査を行う。事業期間は契約締結日から21年3月31日まで、事業限度額は352万円(税込み)。

■大阪市、8月以降に特養・老健10施設が開設

大阪府は、20年の特別養護老人および介護老人保健施設の整備予定一覧を更新した。それによると、8月以降に10施設が開設する。以下は▽設置主体(連絡先)=施設名(所在地、開所予定、定員、短期・通所定員、工事概要、併設施設など)の順。

【特別養護老人ホーム】

▽(福)池田さつき会(Tel.072-754-7010)=(仮称)ポプラ上新庄(東淀川区上新庄3、20年10月、60人、10人、S造り4階建て、—)

▽(福)弘道福祉会(Tel.06-6902-9035)=(仮称)鶴橋特養ラガール(生野区鶴橋1、21年3月、85人、5人、RC造り8階建て、通所介護・居宅介護・居宅介護支援・地域密着型特養ホーム)

▽(福)弘道福祉会(Tel.06-6902-9035)=(仮称)鶴橋特養ラガール(生野区鶴橋1、21年3月、29人、RC造り8階建て、特養ホーム)

▽(福)仁風会(Tel.072-986-0003)=(仮称)ピオスの丘城東(城東区永田1、21年4月、80人、10人、

RC造り6階建て、地域密着型特養ホーム)

▽(福)仁風会(Tel.072-986-0003)=(仮称)ピオスの丘城東(城東区永田1、21年4月、20人、RC造り6階建て、特養ホーム)

▽(福)平成福祉会(Tel.06-7501-8690)=(仮称)平成森之宮苑(城東区森之宮2、21年4月、80人、10人、S造り7階建て、認知症デイサービス、訪問介護、居宅介護、地域密着型特養ホーム)

▽(福)平成福祉会(Tel.06-7501-8690)=(仮称)平成森之宮苑(城東区森之宮2、21年4月、20人、S造り7階建て、特養ホーム)

▽(福)健正会(Tel.06-6115-1165)=カサブランカ(住之江区新北島8、22年2月、90人、10人、RC造り8階建て、—)

▽(福)浩照会(Tel.075-632-8658)=(仮称)大阪あじさい苑(住吉区住吉1、21年4月、70人、10人、RC造り6階建て、地域密着型特養ホーム)

▽(福)浩照会(Tel.075-632-8658)=(仮称)大阪あじさい苑(住吉区住吉1、21年4月、20人、RC造り6階建て、特養ホーム)

【介護老人保健施設】

▽(医)仁悠会(Tel.072-259-0100)=(仮称)カルチェ住吉川(住之江区北加賀屋1、20年8月、126床、40床、RC造り3階建て、—)

■大阪府熊取町、8期保険福祉計画策定を委託へ

大阪府熊取町(泉南郡熊取町野田1-1-8、Tel.072-452-6298=介護保険課介護保険グループ)は、第8期高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画策定業務を委託する事業者を選定するため、公募型プロポーザル実施を公表し、4月21日に質疑書の提出を締め切った。企画提案書の提出期限は5月7日、5月11～15日に審査を行い、5月中旬に審査結果を通知する。業務期間は契約締結日から21年3月31日まで、委託料提案限度額は412万5000円(税込み)。

■橋本市民病院、訪問看護Sシステムを導入へ

橋本市民病院(和歌山県橋本市小峰台2-8-1、Tel.0736-34-6119=橋本市訪問看護ステーション)は、訪問看護ステーションシステム導入業務の委託先を選定する公募型プロポーザル手続きを開始し、4月17日に企画提案書などの提出を締め切った。4月下旬にプレゼンテーション審査を行い、5月上旬に審査結果を通知する。委託期間は、システム導入業務が契約締結日の翌日から5月25日までで、同日からシステム運用を開始し、25年5月24日まで訪問看護システム運用保守業務を行う。委託料見積の条件として、ソフトウェア(5年間使用料)(訪問看護システム・居宅介護支援システム)、タブレット使用料、導入初期費用(訪問看護システム・居宅介護支援システム)を挙げている。

■有田広域組合、特養の潮光園新築移転を公告

有田周辺広域圏事務組合(和歌山県有田市箕島50、Tel.0737-83-4491=事務局)は、特別養護老人ホーム潮光園新築移転工事の条件付き一般競争入札(事後審査・郵送方式)を公告し、4月23日に設計図書などに関する質問を締め切った。入札書などの提出期間は5月8~14日、開札は5月15日で、5月18日に落札決定(低入札価格調査が行われない場合)となる。予定価格は17億5329万円(税込み)、調査基準価格は14億9029万7000円(税込み)としている。工事場所は有田郡湯浅町大字湯浅地内で、建物はRC造り3階建て延べ3688.95m²(塔屋階面積29.73m²、3階床面積846.30m²、2階床面積997.33m²、1階床面積1815.59m²、建築面積1881.46m²)。工期は21年3月31日まで。

■シニアスタイル、西宮市に新サ高住6月開設

(株)シニアスタイル(兵庫県尼崎市道意町4-14、

Tel.06-6411-7200)は、兵庫県西宮市で6月1日にサービス付き高齢者向け住宅「シニアスタイル西宮北口」をオープンする。

計画地は、西宮市大屋町14で、阪急神戸線・西宮北口駅から徒歩7分に位置する。また、商業施設「西宮ガーデンズ本館」の東ゲートから徒歩3分の好立地である。建物は、敷地面積1889m²にS造り5階建て延べ4103m²で、99戸(個室、2人部屋)を設ける。居室面積は約18m²~約35m²。認知症対応フロアのほか、食堂、機能訓練室、相談室なども併設する。機能訓練では、理学・作業療法士による個別リハビリ週3回30分が可能であるほか、看護職員の8時~20時勤務や医療機関との連携で在宅医療も充実させる。

なお、22年4月には「シニアスタイル神戸住吉」の開設を計画している。

■加古川市、地域密着型サービスの公募開始

加古川市(兵庫県加古川市加古川町北在家2000、☎079-427-9123=介護保険課管理係)は、20年度地域密着型サービスの公募を開始した。以下は、▽サービス種別(整備数、概要など)の順で、いずれも5月27日に受け付けを締め切り、7月に結果を通知する。ケアハウスのみ担当窓口が高齢者・地域福祉課高齢者福祉係(☎079-421-2045)。▽定期巡回・随時対応型訪問介護看護(5カ所、5圏域に各1カ所)▽小規模多機能型居宅介護/看護小規模多機能型居宅介護(3カ所、圏域指定なし)▽サテライト型小多機/サテライト型看多機(制限なし、圏域指定なし)▽認知症対応型通所介護(5カ所、5圏域に各1カ所)▽地域密着型通所介護(制限なし、圏域指定なし)▽ケアハウス(30床以下、ユニット型)

なお、看多機の事業者として、(福)博愛福祉会(☎079-433-8660)を選定した。小多機から看多機への転換を図るもので、事業予定地の米田町平

津413-1ほかで、6月1日に開設する。

■高松市、8期高齢者保健福祉計画支援を委託へ

高松市(高松市番町1-8-15、Tel.087-839-2346＝長寿福祉課)は、第8期高齢者保健福祉計画策定支援業務委託の公募型プロポーザル実施を公表し、4月16日に参加表明書の提出を締め切った。企画提案書の提出期限は4月24日で、5月1日にプレゼンテーション審査を行い、5月中旬ごろに選定結果を通知する。履行期限は21年3月31日で、提案上限額は440万円(税込み)。

■四万十市立病院、病院情報システム導入委託へ

四万十市立市民病院(事務局、高知県四万十市中村東町1-1-27、Tel.0880-34-2126)は、病院情報システム導入業務を委託する公募型プロポーザル実施を公表し、質問書の提出を4月20日に締め切った。参加申し込みの受け付け期限は4月30日、プロポーザル参加者の決定は5月14日で、5月22日に企画提案書の提出を締め切り、5月26～28日にプレゼンテーションなどの審査を行い、5月29日に審査結果を通知する。

履行期間は、契約締結日から11月30日で、提案上限額(税込み)は、システム導入業務が9000万円、備品購入(周辺機器)が1890万円。

■大野城市、定期巡回1カ所の事業者募集開始

大野城市(福岡県大野城市曙町2-2-1、Tel.092-580-1916＝長寿支援課介護サービス担当)は、市内全域を対象とする定期巡回・随時対応型訪問介護看護1カ所の事業者募集を開始した。公募書類の提出期限は5月8日で、5月中旬から下旬にかけて書類審査、ヒアリングなどを行い、事業者選定結果を通知する。整備年度は20年度。

■島原広域圏組合、介護保険計画策定支援委託へ

島原地域広域市町村圏組合(長崎県島原市有明町大三東戊1327、Tel.0957-61-9101＝介護保険課総務企画係)は、第8期介護保険事業計画策定支援業務の委託先を決める公募型プロポーザル実施を公表し、参加申込書の提出を4月17日に締め切った。企画提案書などの提出期限は4月30日で、5月13日に書類審査を実施し、5月20日に審査結果を通知、5月下旬ごろに契約締結となる。委託期間は契約締結日から21年3月31日で、委託料上限額は418万円(税込み)。

■五島中央病院、人工呼吸器1式の入札を公告

長崎県五島中央病院(財務係、長崎県五島市吉久木町205、Tel.0959-72-3181)は、「人工呼吸器1式」の一般競争入札を公告した。競争入札参加申込書の提出は4月24日までで、4月28日に入札を行う。納入は9月30日までとしている。

■長崎県新上五島町、8期介護事業計画を委託へ

新上五島町(長崎県南松浦郡新上五島町青方郷1585-1、Tel.0959-53-1163＝健康保険課)は、老人福祉計画・第8期介護保険事業計画策定業務委託の公募型プロポーザル実施を公表し、4月20日に参加申込書の提出を締め切った。提案書の提出期限は4月30日で、5月上旬にプレゼンテーションとヒアリングを行い、5月中旬に審査結果の通知と契約締結を行う。契約期間は21年3月26日までで、提案上限額は347万3000円(税込み)。

■琉球大学、医学部研究棟発注支援業務を委託へ

琉球大学(沖縄県中頭郡西原町字千原1、Tel.098-895-8177＝施設運営部施設企画課施設総務係)は、「医学部研究棟他整備発注支援業務」の公募型プロポーザルを公告し、4月20日に参加表明書の提出を締め切った。4月27日を期限に

技術提案書を提出する。履行期限は21年3月30日までとしている。

■最近の入札公告(公示) 予定の公示

最近の入札公告(公示) 予定の公示は、以下のとおり。▽調達機関(連絡先) = 調達物品(数量、調達方法、入札公告(公示)の予定時期)の順。

▽筑波大学附属病院(Tel.029-853-3901) = ①心血管用超音波診断装置(割賦購入) ②構造的疾患用超音波画像診断装置(割賦購入) ③一般X線FDP撮影システム(割賦購入)(各1式、各購入等、各3月)

▽東京通信病院(Tel.03-5214-7111) = ①使用する電気 ②前眼部三次元画像解析装置 ③患者監視装置 ④多用途超音波診断装置(①予定964万60kWh ②③④1式、各購入等、①12月 ②③④10月)

▽京都通信病院(Tel.075-241-7167) = 関節鏡用テレビカメラシステム(1式、購入等、7月)

▽広島通信病院(Tel.082-224-5350) = CT撮影装置(1式、購入等、10月)

■最近の資料提供招請(4月13～17日)

最近の資料招請の公表は以下のとおり。▽調達機関 = 品目および数量(調達方法、説明会、資料

の提供期限、導入予定時期)の順。▽弘前大学 = 周術期管理支援システム1式(購入、4月24日、6月3日、20年度3月以降)▽筑波大学 = 磁気共鳴・X線CT断層撮影システム(割賦購入)1式(購入、4月21日、5月29日、20年度3月以降)▽東海国立大学機構 名古屋大学 = 高線量率密封小線源治療システム1式(購入、4月27日、6月1日、20年度10月以降)▽滋賀医科大学 = 消化器疾患等治療サポートシステム(患者給食用厨房機器)1式(購入、4月23日、6月2日、20年度12月以降)

■最近の意見招請(4月13～17日)

最近の意見招請の公示は以下のとおり。▽調達機関 = 品目および数量(調達方法、説明会、意見の提出期限)の順。▽富山大学 = 医療材料物流管理運営業務1式(購入、4月24日、5月18日)▽金沢大学 = 放射線治療システム1式(購入、4月20日、5月14日)▽佐賀大学 = 小線源放射線治療・治療計画CTシステム1式(購入、4月20日、5月14日)▽長崎大学 = 高圧蒸気滅菌装置1式(購入、4月28日、5月15日)▽熊本大学 = 高精度放射線治療システム1式(購入、4月17日、5月15日)▽鹿児島大学 = 術中MRI診断システム1式(購入、4月28日、5月18日)▽琉球大学 = 検体検査自動処理システム1式(借入、4月27日、5月18日)

入札公告(医療機器・備品・委託業務、20年4月13～17日)

導入施設	物品名・数量(調達方法)	説明会開催日	入札書受領期限	開札日	納期/借入期間
社会保険診療報酬支払基金	医療情報化支援基金業務管理システムの構築および運用保守1式(一)	4月27日	6月8日	6月19日	入札説明書による
防衛装備庁(説明書による)	乾式臨床化学分析装置、1検体 18EA(購入)	—	6月5日	6月8日	入札説明書による
	可搬型人工呼吸器、小型 32EA(購入)				
	多項目モニタ、多用途型 32EA(購入)				
	生体情報管理システム 1EA(購入)				
	電子内視鏡システム 1EA(購入)				
	内視鏡システム、関節鏡用、2型 1EA(購入)				
	過酸化水素ガス滅菌器 2EA(購入)				
移動型デジタル式汎用X線診断装置、FPD搭載型 1EA(購入)					

国立病院機構 北海道がんセンター	新棟本館什器1式(購入)	—	6月4日	6月9日	9月15日(工事の進捗により前後する場合があります)
	外来待合ホール等什器1式(購入)				
	手術室およびスタッフステーション什器1式(購入)				
	一般病室内備品1式(購入)				
	厨房機器(温冷配膳車等)1式(購入)				
	薬剤機器1式(購入)		6月8日	6月10日	
東北大学附属図書館医学分館	【リバースオークション】スチール製単柱式書架1式(購入)	—	6月8日	7月7日	12月4日
東北大学東北メディカル・メガバンク機構	【リバースオークション】リクルート端末仮想デスクトップシステム構築業務1式(購入)	—	6月8日	6月26日	7月1日～12月25日
国立病院機構 宮城病院	MRガイド下集束超音波治療器1式(購入)	—	6月8日	6月10日	6月30日
秋田大学附属病院	デジタルX線画像撮影診断システム1式(購入)	4月28日	6月3日	6月22日	21年3月31日
国立国際医療研究センター	ゾルゲンスマ点滴静注(購入)	—	6月1日	6月2日	契約日～21年3月31日
東京工業大学バイオ研究基盤支援総合センター	ゲノム合成による機能性細胞創出システム1式(購入)	—	6月5日	6月25日	21年3月31日
国立病院機構 横浜医療センター	都市ガスの供給1式年間予定使用量67万31m ³ (購入)	—	6月4日	6月5日	7月1日～21年6月30日
山梨大学附属病院	造作家具1式(購入)	4月17日	6月3日	6月17日	8月31日
	什器1式(購入)				
	医療用シンク1式(購入)				
	ベッドバンウォッシャー1式(購入)				
	監視カメラシステム1式(購入)				
国立病院機構 天竜病院	人工呼吸器賃貸1式(借入)	—	6月10日	6月11日	7月1日～21年6月30日
京都大学附属病院	診療費自動精算機システム1式(購入)	—	6月3日	7月3日	11月30日
	患者用ベッド・ストレッチャー1式(購入)				12月28日
	救急処置室内内視鏡システム1式(購入)				10月30日
国立病院機構 大阪医療センター	庁舎ガス調達契約1式(—)	—	6月5日	6月9日	7月1日～23年6月30日
国立病院機構 四国がんセンター	診療材料5品目(購入)	—	6月9日	6月10日	7月1日～22年6月30日
国立病院機構 関門医療センター	カーテン・ブラインド賃貸1式(借入)	—	6月5日	6月8日	7月1日～25年6月30日
九州大学病院	自動精算機1式(購入)	4月24日	6月3日	6月30日	9月30日
	調剤支援システム1式(購入)	4月28日			21年1月15日
佐賀大学	血行動態モニター6式(購入)	4月23日	6月9日	7月10日	9月30日
	定位能手術支援装置1式(購入)		6月8日	6月30日	8月31日
長崎大学病院	病理標本作製システム1式(購入)	—	6月3日	6月25日	12月28日
	容積(流量)制御式輸液ポンプ100式(購入)	—	6月8日	6月24日	9月30日

【お知らせ】

書籍『介護老人施設計画』の残部数わずか

本紙『医療産業情報』を発行する産業タイムズ社刊『介護老人施設・老人ホーム計画一覧2019-2020』の残部数がわずかとなっております。

当社では、施設整備が本格化した1987(昭和62)年に、同シリーズを創刊しました。30年余りが経過し、発刊当時計画中であった施設は、すでに

に居室のユニット化に伴う改築・増築などが始まっています。本書は直近1～2年の情報源にとどまらず、長期にわたり貴重な情報データとして好評を博しております。ご購入をご検討中の方はお早めにお求め下さい。お申し込みは当社販売部(Tel.03-5835-5892)ないし、当社ホームページからもご購入が可能です。

(了)



使い捨て!!

3層構造不織布マスク

新型コロナウイルス対策

(クロニクス製 made in China)

有効期間2年



3層構造不織布マスク



構造	カラー	サイズ	認証
3層構造不織布マスク	青 / 白	17.5cm×9.5cm	CE認証済み

販売元 **ク○ニクス株式会社**

〒160-0023 東京都新宿区西新宿3-2-11 新宿三井ビルディング二号館904号

TEL 03-5322-7191 FAX 03-5322-7790

E-mail : sales@chronix.co.jp

URL : www.chronix.co.jp